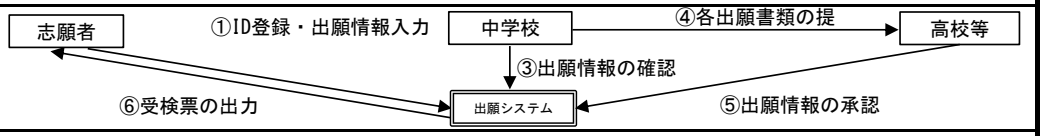
レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名）	インターネット出願システムの開発（学力検査実施事業）			部（局）	教育委員会事務局
				所管課	高校教育課
				担当班	教育指導班（教育課程担当）
				連絡先	078-362-9444
開始年度	令和６年度	終了年度	ー	関連計画等	ー
事業区分	☑ 国補助事業　□ 県単独事業				
実施方法	□ 直執行　☑ 委託　□ 補助　□ その他（　　）			実施主体等	兵庫県
事業目的	学校教育法施行規則第90条に基づき、公立高等学校入学者選抜の学力検査を実施する。				
事業概要	出願等に関する手続（入学志願承認申請、出願情報の登録や訂正、入学考査料支払、志願変更、受検票取得、合否結果の確認等）、各種記者発表資料及び統計資料作成等をインターネット出願システム（以下「システム」という）で行い、行政サービスの向上及び業務負担の軽減を図る。				
業務フロー	〈出願の流れ〉  				
R5レビュー時の外部委員会意見	・教職員の負担軽減のためには、紙申請は残さず100%オンライン化すべき。 ・教職員の事務負担を計測し、アウトカム指標として設定することで、ＤＸ化によりどれだけコストが減ったかを見える化すべきである。 ・他自治体や大学等の先行事例も参考に、入力のしやすい仕組みやエラーチェックの導入、また導入コストの低減化を図られたい。 ・申請者は中学生である。入力間違いがあった場合のフォロー方法やそのプロセスの検討もされたい。 ・システムの協議や調整をうまくやることで、完成後の不具合が減ると思われる。アウトプット指標に、システム会社との協議・調整を行った回数等を設定してみてはどうか。				
改善結果（改善状況取組過程）	・教職員の業務負担軽減の観点から、申請手続については紙媒体を残さず、原則として100%オンライン化を実現している。 ・入学考査料の支払いについては、24時間対応とし、クレジットカード、ペイジー、コンビニ決済から選択できるようにした。 ・他府県の事例を参考に、選択式入力や入力エラー表示機能などを導入し、入力ミスの防止と処理効率の向上に努めている。 ・出願に関しては、担任の確認および学校長の承認を経て出願し、高校側でも不備があれば差戻しを行い、修正を依頼できるシステムを構築している。 ・開発に係る会議については、義務教育課、学事課、教育企画課、総合教育センター情報教育研修課とも連携し、月1回を目途に開催した。 ・実施後にはアンケート調査を行い、利用者の満足度や操作性に関する評価を把握するとともに、その結果を踏まえた改善につなげている。				

事業に要するコスト

区分		５年度決算額	６年度決算額	７年度当初予算額	８年度当初予算額
事業費①		20,127 千円	83,571 千円	34,785 千円	34,251 千円
経費内訳	報酬・賃金				
	委託料		64,900 千円	15,350 千円	15,350 千円
	補助金・交付金				
	貸付金				
	その他	20,127 千円	18,671 千円	19,435 千円	18,901 千円
（財源内訳）	（国庫）		(32,450千円)		
	（特定）	(20,127千円)	(26,256千円)	(21,140千円)	(20,606千円)
	（起債）		(24,600千円)		
	（一般財源）		(265千円)	(13,645千円)	(13,645千円)
予算額② ※精算補正前の予算を記載		20,098 千円	87,448 千円	34,785 千円	34,251 千円
執行率（(①/②)×100）		100.1%	95.6%	100.0%	100.0%
人件費③（a+b+c）		従事人員 33.0人	従事人員 31.8人	従事人員 31.6人	従事人員 31.6人
		272,250 千円	274,084 千円	284,305 千円	298,241 千円
	職員給与費 a	236,148 千円	234,970 千円	249,735 千円	259,373 千円
	賞与引当金繰入額 b	19,602 千円	19,843 千円	18,770 千円	19,718 千円
	退職手当引当金繰入額 c	16,500 千円	19,271 千円	15,800 千円	19,150 千円
総コスト(①+③)		292,377 千円	357,655 千円	319,090 千円	332,492 千円

レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

評価指標	指標名	区分	５年度実績	６年度実績	７年度見込	８年度目標	最終目標【年度】
	成果指標(アウトカム指標①)	目標	－	－	65	70	100
		実績（見込）	－	－	(63)	(70)	【年度】
	システム利用者の満足度	(単位当たりコスト)	－－	－－	(5,105 千円)	(4,750 千円)	
		達成率（見込）	－－	－－	(96.2%)	(100.0%)	
	成果指標(アウトカム指標②)	目標					
		実績（見込）					【年度】
		(単位当たりコスト)	－－	－－	－－	－－	
		達成率（見込）	－－	－－	－－	－－	
	成果指標(アウトカム指標③)	目標					
		実績（見込）					【年度】
		(単位当たりコスト)	－－	－－	－－	－－	
		達成率（見込）	－－	－－	－－	－－	
	活動指標(アウトプット指標①)	目標	－	1	100	100	100
		実績（見込）	－	1	(100)	(100)	【年度】
	出願手続きのオンライン化率（システム導入校の割合）	(単位当たりコスト)	－－	(357,655 千円)	(3,191 千円)	(3,325 千円)	
		達成率（見込）	－－	100.0%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標					
		実績（見込）					【年度】
		(単位当たりコスト)	－－	－－	－－	－－	
		達成率（見込）	－－	－－	－－	－－	
	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績（見込）					【年度】
		(単位当たりコスト)	－－	－－	－－	－－	
		達成率（見込）	－－	－－	－－	－－	
標	終期設定	有（　　）・無					
	改善基準						

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか　など	教職員の業務負担軽減及び申請者の利便性向上という県民ニーズを的確に踏まえて実施したものである。特に、従来の紙申請を廃止し原則100%オンライン化を実現したことにより、申請手続の簡素化及び迅速化を図ることができた。	B：ほぼ満足のいく実施状況 県内の公立高校全校でシステム導入できた。 オンライン化の実現により教職員の負担軽減と利便性向上を達成し、アンケートで成果（63%）も確認している。また、ICT活用や関係課との連携により効率的に推進されており、有効性・効率性の双方の観点から評価できると考えている。
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか　など	申請手続のオンライン化により紙書類の作成・保管といった業務を削減し、教職員の負担軽減と業務効率化を図るとともに、入力支援やエラーチェック機能でミス削減と処理迅速化を実現し、運用コストの低減にも取り組んでいる。	

課題・今後の方向性

☑ 改善　□ 他事業と統合　□ その他

説明：アンケート等で寄せられた意見や要望をもとに、システムの課題や不便な点を把握し改善につなげ、操作性や機能の見直しを行い、より使いやすいシステムづくりを進め、利用者の利便性向上を図る。

外部委員会意見

・令和5年度レビューの指摘を踏まえ、出願手続の100%オンライン化やオンライン決済の導入を実現し、志願者の利便性向上と教職員の事務負担軽減を図ったことは評価できる。また、入力支援機能や確認・差戻し機能の導入により、手続の適正化にも取り組まれている。
・システム開発が完了し、実行も100%となると、次は運用改善サイクルに入っていくことが必要だと思われる。
・利用者満足度以外の成果指標がなく、業務効率化や負担軽減の効果の見える化に課題が残る。また、利用者の満足度63%という結果が出ているが、それをどう評価するのかが明白でない。
・関係部署との協議を、アンケート結果やエラーログから優先課題を抽出しシステム改修に反映させるPDCAへと高める必要がある。入力完了率やエラー発生率などをベンチマークし、毎年継続改善を行うプロダクト運営という発想を持つのが大事かと思われる。